

# 第12回日本の次世代リーダー養成塾に参加して

参加した高校生の皆さんの感想をご紹介します。

## ◇卒塾生の感想文より【五十音順】

No. 1 2年生男子

### 1 リーダー養成塾を受講して

「日本の次世代リーダー養成塾」では、高い志を持った高校生が日本全国、そしてアジア5ヶ国から集まって様々なことについて話し合いました。2週間の共同生活を通して、一番よかったと思うことは、たくさんの人との出会いがあったことです。それぞれの夢を熱く語り合え、その実現に向かって切磋琢磨し合える仲間、そんな自分たちの背中を押してくださった担任の先生や学生リーダーの皆さん、そして自らの経験をもとに非常にためになる講義をしてくださった講師の先生方など、本当に多くの貴重な出会いがありました。リー塾で出会った仲間や学生リーダーの先生とはグローバルアリーナでの2週間が終わった今でも連絡を取り合っているくらいです。

また、たくさんの人と意見を交わす中で、物事を様々な面から見る力がついたと思います。ディスカッションやハイスクールサミットではメリット・デメリットを考えながら一つのことについて考える機会が多くあり、それによって自分の中での物事の見方が少し変わった気がしました。

リー塾でできた思い出は本当に一生ものの宝です。

### 2 印象に残った講義とその理由

リーダー塾での二週間で、様々な先生の講義を聞きましたが、その中でも特に心に残ったのは、明石康先生の講義でした。明石先生は、日本人で初めて国連の事務次官になった方で、内戦の真っ只中だったスリランカの平和のために長年尽力された方です。私は両親がスリランカ出身だったので、明石先生の話にはとても興味がありました。講義は事前に聞いていたように全て英語で行われました。世界が今置かれている状況、将来平和を築いていくために今の私たちには何が求められているのかなどが先生の口から語られました。講義後、私は「今世界にはスリランカ同様、民族問題などでもめている国々が多くありますが、この問題を解決するためには何が大切か？」というような質問を英語でしました。答えはもちろん英語で返ってきました。「教育等の努力は必要だが、世界平和は必ず実現できる」と先生は断言されました。明石先生からのこの力強い返答は今でもはっきり覚えているくらい印象に残っています。

### 3 今後のわたし

2週間の塾での活動を通して、これから社会に出ていく者としての自分に何が求められているのか、リーダーという存在はどうあるべきなのかなど、勉強になることがとても多くありました。そればかりでなく、平和とは何なのか、世界平和のために私たちに出来ることは何かなどを仲間たちと真剣に話し合うことで、自分の視野が広がったし、自分の意見を深めることもできました。貴重な経験を本当にたくさんすることができました。

私には「これになりたい」というはっきりとした将来の夢はまだありませんが、国際社会を舞台に活躍したいという夢が昔からあります。今回のリーダー塾にはアジア5ヶ国からの学生も参加していたので、多国籍で話し合いができました。世界の諸問題を解決するにはとにかく相互理解は欠かせない要素です。現在日本でも領土問題や歴史認識問題など近隣の国との外交問題がよくニュースなどで取り上げられています。講義の中でも先生がおっしゃったように、領土問題の前にやるべきことはないのか、と私自身もよく疑問に思うことがあります。より良い解決策はないのか、と考えることもありますし、実際に塾でのディスカッションでこの話題も取り扱いました。せっかくいい考えがたくさん出てきたのに、ここで終わらせるのは非常にもったいないと思います。ですから私は将来そういったことを世界に発信していけるような人になりたいと思っています。世界を相手に自分の主張を展開するのは困難かもしれませんが勇気が必要です。しかし、この2週間で学んだことが、自然と自分の背中を押してくれているような気がします。この夢を自分の力で叶え、リー塾の講師陣に負けられないくらいの実績を残します！

## 1 リーダー養成塾を受講して

日本の次世代リーダー養成塾に行かせていただいて、私が思った事、感じた事は多すぎて書ききれない程です。しかし、リーダー塾をふり返り、一番に思い出す事は「仲間」です。リーダー塾で出会った仲間は、今まで自分が出会ってきた人とは違いました。具体的に挙げると、みんなが自分の意見を持っていて、また、周りの人に流されない所です。さすがリーダー塾へ来るだけあって、みんな高い志を持っていました。

そして次に思い出すのは、AHSです。自分たちで作りに上げていく平和、どうして戦争が起きてしまうのか、幼い頃には一言で「〇〇すれば平和になるのに」と考えていましたが、「平和とは何か」、そこから考えていく事で、「とても難しい問題を考えているんだな」と思い、「平和を実現できるのか？」という不安が生まれました。しかし、このAHSはとても意義のあるもので、自分の考え方を根本から変える事ができました。

次は、学生リーダーとしてリーダー塾に参加し、もっともっと出会い、経験をして、人生を豊かにしたいと思いました。

## 2 印象に残った講義とその理由

一番印象に残った講義は里崎伸子先生の講義です。里崎先生の話で、戦争、争いの凄惨さが痛い程に伝わってきました。そして、同時に見せていただいた写真では、平和へのきびしい道のりが見えていました。「この状態から平和にすることはできるのか?」「平和にするためにはどれ程の時間がかかるのか」、そんな不安が生まれ、「平和」があたり前だと思っていた自分が情けなく感じました。

次に印象に残ったのは、小林亮介先生の「大学」についての話です。自分は、すでに就職を決めています。しかし、大学へ行きたいとも思っています。そんな自分には、小林先生の話と、とても興味深く聞く事ができました。「英語がペラペラな訳でもなく、自分よりも頭の良い人も受験していた」そんな中で見事にハーバード大学へ受かった先生の話はとても面白く、また、ハーバード大学がどのような大学なのかというのを知る良い機会となりました。

## 3 今後のわたし

今回学んだ事は多くあり、全てがとても貴重なものでした。

AHS、アジア各国発表、ディスカッション、先生による講義、チームビルディング、みそ汁コンテスト、この中で、仲間とキズナを深め、仲間と話し合う事で、考えを深め、また自分とは違う意見を認め、自分の意見へ取り込む大切さを学びました。この経験は、「将来」ではなく、「今」の生活に取り入れていくことで、すぐにも、自分を成長させていく事が出来ます。校長先生は生徒に言いました。「自分を大切にしてください」と。しかし、意味は、自分を甘やかす事ではなく、どれだけ自分を成長させることができるかなのだと。だとしたら、今回私は、16年間の中で1番自分を大切にできました。これ程大切に自分を、将来は国際的に活躍のできる職について、自分だけではなく周りの人も大切にしていきたいです。

また、今の日本には、多くの問題があります、しかし、その問題をしっかりと理解できている高校生は多くありません。自分は今回多くの事を学び、リーダー塾が終わった後でも新聞などを読み、多くの事を学び、自分で考えを持つくせをつけています。これはすべての事につかえるくせです。人と話して自分の意見をもつ、気になった事を調べて自分の意見をもつ、将来働く時も、1つ1つの仕事をこなしていく中で、自分の考えが生まれてくると思います。その考えをいい方向へもって行きたい。そのためにもくせをつけるだけではなく、つねに考えをみがいていくことで、自分をさらに成長させたいです。

### 1 リーダー養成塾を受講して

次世代リーダー養成塾を受講し、僕は大きく成長したと思います。もちろん僕を成長させた物の中に講義も入っていますが、仲間と過ごした時間も僕を成長させてくれました。

共に一つのことをやりとげたり、共に夢について語りあったり、共に腹をかかえて笑ったりしました。最高の時間でした。もっとこうしていたいとすごく思いました。

でも別れの時はきてしまいました。共にいろいろな事をやってきた仲間に別れを告げるのはすごく悲しいことでした。でももう二度と会えない訳ではない。次会うときは世界を舞台にし、また会うことを約束しました。そのためにも、これから、自分、みんな、日本のためにがんばっていきたいと思います。

### 2 印象に残った講義とその理由

僕が次世代リーダー養成塾で一番印象に残った講義は小林先生の講義です。その理由はなんといっても小林先生の若さです。小林先生のように若くても、信じる力があればしっかりと自分のため、みんなのため、日本のために貢献できるということを学び、僕は勇気と希望をもらいました。この勇気と希望をこの先ももち続け、自分の目指す夢をかなえたいと思います。

そしていつかは、教えられる側から教える側になり、自分、みんな、日本を、よりよいものにしていきたいと思います。

### 3 今後のわたし

僕は今後、二つのことをやりたいと思います。

一つ目は、リーダー養成塾で得た力をムダにしたりなくしたりしないことです。人間は忘れる生物です。だからこそ、自分はリーダー養成塾の卒塾生だということを常に意識し、学んだことをただ保つのではなく活用し、より大きな力にしていきたいと思います。

二つ目は、周りの仲間に広めることです。リーダー養成塾での力を独占してはいけないと思います。中には行きたくても行けなかった人が何人もいました。その人たちのためにも、自ら自分が学んだことを広め、より大きなものにしていきたいと思います。

この先、生きていくうえで、困ってしまったり、イヤになってしまったり、失敗したり、落ち込んだりすることが必ずあるはずで。そんなときは、リーダー塾で身に付けた力を自信にし、どんな困難ものりこえていけたら、そこにきっと幸せがあると思います。

### 1 リーダー養成塾を受講して

まず、リーダー塾を通して、最高の仲間に出会えた事がとても嬉しいです。「平和」や「夢」について本気で語り合うことが出来る仲間とは、学校や塾ではそうそう出会えません。自分の考えを真正面からぶつけて、受けとめて、ばかにすることなく一生懸命答えてくれる彼らは、私の人生の最大の味方になりました。また、2週間寝食を共にすることによって、仲間意識が芽生えるだけでなく、自分にとって、とても刺激になりました。同年代とは思えないほどのしっかりしたたくましい考えを持ち、行動している彼らを見ると、“負けていけない”という闘争心に火がつかます。「仲間でありライバルでもある」友達をこのリーダー塾で得られたのは、本当に素晴らしいことです。

さらに、リーダー塾の講義を通して自分の価値観、信念が大きく変わりました。講義の先生方は超一流の方ばかりで、直接お話を伺うことによって、その先生の生き方・考え方に感銘を受けました。自分の考えがいかに狭く、小さいものだったか分かります。これからますます「グローバル化、グローバル人材」といわれる社会において、講義の先生たちのような考えを学び、社会、日本、世界に貢献できる人間になろうと心から思いました。

### 2 印象に残った講義とその理由

どの講義も私にとってすごく新鮮で、考え深い講義となりましたが、特に小林先生と黒崎先生の講義が印象に残っています。小林先生は歳が近くて、先生自身の人生についての講義は刺激をうけるところがたくさんありました。留学のお話や、大学のお話はこれからの自分にとって参考にしたいと思ったし、何より考え方がすごくかっこよかったです。自分はまだまだ、もっと勉強して小林先生みたいになりたいと、心を動かされる講義でした。

黒崎先生の、IMFについての講義でも、心に訴えられる何かを感じました。豊かで平和な日本で暮らしているありがたみを実感するとともに、世界で起きている生々しい貧困問題や紛争の被害をスクリーンで見ているお話を伺うことで現実の厳しさを痛感しました。「特別な技術がなくてもボランティアに参加できる。あなたを待っている人がいる」というお言葉は重量感あふれるお言葉であって、自分も是非ボランティアに参加したい、世界貢献したいという気持ちにさせてくれた、大切な講義でした。

### 3 今後のわたし

もともと留学したいと思っていた私は、リーダー塾へ行ってその気持ちがより一層深まりました。まわりを見れば半分は留学経験がある。そんな状況で生活していたので、留学という選択肢は、私の進路に大きく影響するものになりました。実際に留学したことのある友達や、これから留学予定の友達と話をすると、今よりもっとグローバルな世界へ行きたいと思いました。また、リーダー塾での講義は最も貴重な経験です。普段お話を伺うことなんてできない講師の方の講義は、今の私に多大な影響を与えました。幅広い分野の講義を聞いて、リーダーになるためには、グローバル人材になるためには、もっと様々な知識を身につけることが大切だと考え、これからは学校の勉強だけでなく、社会、世界に目を向けて、勉強に励んでいこうと思います。

リーダー塾全体を通して、改めて自分の未熟さを知りました。2週間の集団行動での自己管理の大切さ、知らない人との接し方、勉強に励む姿勢など、全てが自分より優れている仲間に出会っていた2週間は、自分に自信がついた2週間ではなく、悔しい思いをたくさんした2週間でした。将来、このリーダー塾の仲間と再会したときに胸を張って「久しぶり！」とあいさつができるよう、何事にも全力で挑戦し、失敗をおそれず、夢を追いかけたいと思います。

### 1 リーダー養成塾を受講して

私は、受験生で本当に参加してよいのか不安なままでした。ですが加藤事務局長が初日におっしゃった「受験生もリーダー塾に来たほうが絶対にいい」という言葉通り、自分の将来を本気で考えることができました。

不安と自信がなかった私に、夢を追い続けることの大切さ、失敗してもやり直しができるという前向きな考え方、そして今の苦勞は裏切らないということ、一流の講師の方に教えて頂きました。

2週間、塾を通して、自分に自信がただけでなく、同じ夢に向かって進む仲間との出会い、ディスカッションでのアジア学生との考え方の違いや、自国に対して、客観的に見る機会を頂きました。そして、リーダーとなるために幅広い知識や好奇心、自分の意見をしっかりとつ人を目指したいと思いました。

### 2 印象に残った講義とその理由

さまざまな分野の講師が来てくださり、自分が大学で学びたいと思っていた学問領域以外を学ぶことができ、興味をもつことができました。

その中でも薩摩焼十五代目、沈壽官（ちん・じゅかん）先生の話が印象に残りました。自分の意志を表現することが大切というように薩摩焼に対する思いがとても感動しました。何が一番大事で何が好きなのか考えることが大切だとおっしゃっていて、自分もそのようにしていきたいと思いました。

### 3 今後のわたし

リーダー塾に参加し、もっと人の役に立つことをしていきたいと考えるようになりました。また、大学では絶対に留学することを決めました。

このリーダー塾で自分に何が足りないか、志を高く持っている友人から気づきました。

ディスカッションでは、相手を思いやる気持ち、先を見て、どのような議論になるか予想しながら進行することや、自分の知識のなさに気づき、それを克服していきたいと思いました。やはり、自分には失敗する経験が少ないと感じ、できることならもっと上を目指し、努力し続けたいと願うようになりました。

リーダー塾に参加して思った事、考えた事を大切にして、行動に移さなければいけないと思っています。

マレーシア元首相のマハティール・モハメド先生をはじめ、各界の著名な方々の話を聞き、大切なものは教育なのではないかと思いました。自分自身初等教育を学び直したいと考えるようになりました。

学生リーダーや担任の先生方のような、優しく目配りのできる教員になりたいと思います。

## 1 リーダー養成塾を受講して

2週間という長い期間を知らない土地で知らない人と過ごすことに最初は正直不安がありました。しかし先輩、後輩関係なく全国各地に友達を作ることができその地域の話がたくさんできました。講義では有名な先生方がいらっしゃってこれからどうすればいいのかなど大切な事を多く聞くことができました。また「みそ汁コンテスト」や「チームビルディング」などクラスの人達と仲を深める時間がありどうすれば美味しいみそ汁が作れるか考えあたりして積極的に意見を出せてここでも勉強になりました。

アジアハイスクールサミットでは「平和」をテーマにし国ごとに分かれて話し合いを行いました。私の国は軍も核もない国で周りにはどちらもある国に囲まれていたためどうすれば戦争が起こらないのかを考えました。途中「平和」とは何かということでもつづいたときもあり大変でしたが、最後はみんなと協力し合って対策をつくれたので達成感を感じました。リーダー塾に参加することでたくさんのことを学ぶことができました自分を成長させることができました。2週間とても有意義な時間でした。この経験を将来に活かしていきたいと思います。

## 2 印象に残った講義とその理由

私は日本の次世代リーダー養成塾の専務理事・事務局長でいらっしゃる加藤暁子先生の講義がとても印象に残っています。先生にはリーダーとはどういう人なのか、またこれからの社会どうすればいいのか多く教えてもらうことができました。

自分が正しいと思ったことは実行して間違えていたら直せばいいということや、決めたことはそれに突き進むことを学びました。

また、社会で生き抜くためには携帯に頼らずものごとを自分で考えることが必要だということを知ることができました。そして最後にやりたいことをはっきりと持ち、大学院に進学したり外国に行くことは大事だということも教えてもらいました。

この講義を聞いて今まで考えていなかった留学をしてみたいと思いまた世界に貢献できるリーダーになりたいという意志が強くなりました。

これからは学校でもリーダーについて考え行動に移したいと思います。

## 3 今後のわたし

今回、次世代リーダー養成塾に参加することで「平和」について多くのことを学ぶことができました。そのなかには今も食料や家がなくて苦しんでいる人、テロや紛争の中で暮らしている人など困っている人が多くいることが改めて分かりました。これからの社会は私たちの世代が担っていきます。「平和」という世界を実現させるためにはこのような紛争などをなくしていかなければなりません。その実現に私自身も貢献できる存在になりたいと思うようになりました。

私は今、農林高校に通っています。だから専門的な知識を使って世界に貢献していきたいです。そのためにもより多く知識を身につけられるように大学に進学したいです。そのためにも早く行きたい大学を決めてその大学に向けた試験勉強を進めていきたいです。またリーダー塾に参加する人たちと話をして外国の農業や現状などを自分の目で見てきたいと思うようになりました。しかし、英語の勉強量は普通科とはかなり差があります。そのため英語は自分から勉強を積極的におこなうことで外国にいつ行っても困らないようにしたいと思います。そして自分の目で見ることで外国に対する意識を強くして世界の「平和」ということをより詳しく考えたいと思います。将来の夢はまだ明確には決まっていません。しかし、どの職業に就くことになっても決めたことは最後まで一生懸命にやり、みんなを引っ張ってまとめられる力がつけられるように努力をし、リーダーという存在になれるように頑張りたいです。

また、仕事についても「平和」ということを常に考えこれからの社会は自分たちが作っていくという意識を強くもち生きていきたいと思います。

### 1 リーダー養成塾を受講して

今回、次世代リーダー養成塾に参加してみて、本当に充実した2週間になったなと改めて思いました。正直に言って、最初は本当に行く気が起きませんでした。受けると言ったものの、2週間も見知らぬ土地で、知らない人ばかりでやっていけるのか、とても不安でした。しかし、実際に参加してみて、楽しいことばかりだったし、2週間の間にいくつもの貴重な体験ができました。クラスの子も、みんな優しい子ばかりで、HR もみぞ汁コンテストも、チームビルディングも一日一日が大切な思い出となっていきました。講義の後のディスカッションやアジア・ハイスクール・サミットでは、自分の感じたことや思ったことを、積極的に発表することができました。今年が戦後70年の年ということもあってか、講義や書斎の時間が「平和」についてのことばかりでした。私の祖母も祖父も戦争を経験しておらず、日々「平和」ということについて、考えていませんでした。しかし、今回のことで、「平和」ということについて、改めて考えさせてもらう良い機会でした。

### 2 印象に残った講義とその理由

私が、今回の研修の中で印象に残った講師の方は、中村ブレイスの中村俊郎先生です。先生は、島根県のある小さい町で、1人で中村ブレイスを創業して、今現在の中村ブレイスがある。先生が、この仕事を始めようとしたのは、人々に喜ばれる仕事、世界の人々に希望を与える仕事がしたいと思ったからだそうです。私も、どんな形にしろ、人々に希望を与える仕事がしたいと思っています。先生は、やりたいことなら、どんなことだってできる。チャレンジや勇気は自分でつくるものである。人間は、挫折したことを忘れない。毎日が挫折の日々だと思う、だがその挫折が灯火となっていくに違いない。と先生は、数々の言葉を残していただきました。そのお言葉は、地元に戻ってきた今でも、学校で嫌なことがあった時も、ふと思い出す程、強く印象に残りました。

### 3 今後のわたし

今回の、次世代リーダー養成塾を通して、色々と考えさせられたのと、以前の自分と少し変化した部分が見られました。初めての人だらけの中、不安と心配でいっぱいだったのですが、それをもみ消すようにクラスの雰囲気良く、本当に充実した2週間になりました。

ディスカッションや、アジア・ハイスクール・サミット、夢ディスカッションでは、自分の意見を持ち、その意見をみんなの前で発表することができました。以前の私だったら、考えや意見を持っていても、みんなの前で発表するなんてこと、できなかったと思います。実際、学校の授業でも話すことはありません。だから、2週間経って、以前より少しは変わっているのかもしれないと感じました。

しかし、ディスカッションやアジア・ハイスクール・サミットで、みんなと話し合っている時に私の知識の無さを痛感しました。農業高校ということで、農業についてはうまく話せたけど、他の部分が足りてないなと思いました。そこで、私はもっと「政治や経済」「内紛、紛争」について知りたいと思うようになりました。また、英語の語学力も足りないと感じました。もっと、語学力を身につけるべきだと思いました。今回の研修で、楽しい思い出も見つかりましたが、自分に欠けている部分も見つかったので、これからの生活の中で、埋めていきたいです。

### 1 リーダー養成塾を受講して

リーダー塾での2週間は決して楽な日々だったとは言えないけれど、私にとって忘れられない2週間でした。毎日が新鮮で、気が付くと1日が終わっている、そんな感覚でした。こんなにも1日が早く過ぎていくことを初めて感じました。初めて出会ったはずなのに、何年も一緒にいたように思う仲間ができました。

学校では決して感じられない焦りを感じ、自分がどれほど社会のことを知らないか、海外のことを知らないかを思い知りました。リーダー塾に来ていた人達は、みんな自分よりもはるかに頭が良く、英語が上手くて、同じ高校生だとは思えないぐらいでした。そんな仲間がいたからこそ、たった2週間ではあるけれど英語に対する意欲と、海外に対する興味が持てました。一緒に勉強してくれたり、分からないところを教え合い、とても良い刺激を受けました。クラスも団結力が高く、深い話をとことんできたし、表面的な関わりではなく、内面的な結びつきができたように感じています。

リーダー塾が終わってからの日々が空っぽに思えるほど、濃い2週間でした。本当に行って良かったと思います。担任の先生や学生リーダーの方には、今でも相談に乗っていただいているし、クラスメイトとはこれからもずっとつながっていたい一生の宝です。

### 2 印象に残った講義とその理由

私が印象に残っている講義は、中村先生と黒崎先生の講義です。中村先生は義肢を通して、黒崎先生は国境なき医師団として日本だけでなく、世界と関わり、活躍している方でした。

2人の先生の講義には、共通して「自分のためではなく、相手のために働く」ということがありました。中村先生では、フィリピンの少年のために竹で義足を作ったこと、黒崎先生では、銃声のきこえる中で患者さんの所へ行き、治療していました。自分の命がいつなくなってしまうか分からないのに、「目の前の人を助けたい一心で働いている」とおっしゃっていた黒崎先生には感動しました。また、中村先生は「新しい挑戦は何だってやってみるといい」とおっしゃっていて、先生自身も新しいことに挑戦し、仕事の幅を広げていました。

私はその講義を受けて、何事も挑戦することで得られるものはあるし、それはきっと誰かのために役立つと知り、私も自分の幅を広げる挑戦がしたいと思いました。

### 3 今後のわたし

今回、リーダー塾に参加して一番感じたことは英語の力が私には足りていないことです。アジア学生の人と交流するとき、英語でのコミュニケーションが一番大切だと感じました。また、明石先生の英語の講義が理解できず、くやしい思いをしました。なので、英語でコミュニケーションをとれる力を身に付けたいです。

「授業で座って学ぶ英語と社会へ出て会話する英語は違うんだよ」と教えていただきました。私はリーダー塾を通して、この先、生きていく中で英語が話せないと自分が困るのだと知りました。今までは英語は難しいし、文法もたくさん覚ええないといけなから、英語は少し面倒で苦手でした。けれど、上手にアジア学生の人達と英語で話す仲間がとてもうらやましかったです。私も海外の人ともっと交流したいと思いました。だから、いつか絶対に海外へ行って現地の人と英語で話せるように、英語でのコミュニケーション力を付けます。

もう一つは、もっと自分から人と関わりに行くことです。単に仲が良い人を増やすだけでなく、相手のことをよく考えて行動したり、言葉にすることが大切だと分かりました。私も、リーダー塾内でのクラスメイトから「もっと自信をもっていい」と言ってもらえたことが、リーダー塾が終わった“今”の原動力になっています。クラスメイトと関わったことで、勇気付けられたし、頑張る力になると知りました。なので次は私が、もっと自分から関わりを持って、少しでも相手の力になりたいです。



## 1 リーダー養成塾を受講して

このリーダー塾に参加して一番良かったと思えること、それは、まるで家族のような仲間に出会えたことです。一流の先生の講義や、様々な体験学習もありましたが、それよりも出会った友達と2週間過ごせたことが本当にうれしかったです。

それぞれの土地や文化、先生が語った内容、将来の夢、さらに未来の世界の姿など、幅広い分野で仲間と話すことができました。それにより、他の人から刺激を受けました。その一つが英語です。明石先生の講義は全て英語で、質問も英語でした。僕は、英語が少ししかできないため話す内容もわかりませんでしたし、質問もできませんでした。しかしリー塾の生徒の半分ぐらいの人は、積極的に挙手をして発言をしていました。そんな姿をみて、僕は英語ができないことを悔みました。そしてこれからは本気で英語を勉強しようと思いました。

英語以外にも、多くのことを仲間から学びました。また、僕が悩んでいた時は、真剣に話を聞いてくれました。他にも学校ではできないことを最高の仲間とすることができました。

リー塾では、辛いこと、悲しいことなどいいことだけではありませんでした。しかし、それらも含めて最高の時間だったといえます。なぜなら、「最高の仲間と最高の瞬間」を過ごすことができたからです。

## 2 印象に残った講義とその理由

南野森先生の憲法主義についての話です。ちょうど今、集団的自衛権や平和主義の憲法改正について話し合っています。通ってしまったからこそ、僕たちは完璧に内容を理解しなければいけないと思っていました。そんな時出合ったのがこの先生です。

先生は、憲法の存在する意味や、憲法とは何かを教えてくださいました。憲法とは、国を縛るものです、さらに破ったところで罰則などありません。憲法を守るのは、国です。しかし簡単に破れてしまうから、国民が監視をするのです。

このような話をしていました。これを聞いて憲法解釈の恐さが分かりました。多くの憲法学者は、安倍内閣の政治を違憲と言っています。それでも通ってしまうのは、憲法が曖昧なものだからだと思いました。今、僕は憲法の存在について興味があります。それは、南野先生の話聞いたからです。専門家のすごさを知ることができた、いい講義でした。

## 3 今後のわたし

リーダー塾を通して、英語などの具体的な目標もいくつか見つかりました。このような知識に関係あることは、これからひたすら努力していきたいと思っています。志が高くても知識がなければ達成はできないからです。

ぼくがリー塾で学んだのは、このような勉学ではなく、人との関わりや心の在り方です。僕が、このリー塾に行って最初に当たった壁は、リーダーとは、ということです。考える必要はないかもしれないけども、僕は、必死に悩みました。そして見つけた答えが、リーダーとは人と人とを結ぶ存在であるということです。その人がその場所を心から愛せるように雰囲気をつくる、これが、リーダーの役割だと思います。他にもいろいろ役割はありますが、これが一番だと思います。僕は、こんなリーダーになりたいです。

そのために、今からでもやっていくことは、まず普段から笑顔でいることです。笑顔は人を安心させるということを、体験しました。怒っていてもしょうがない、できないことに腹をたてるよりどうすればできるかを、楽しんで考えたいです。

もう一つは、人の心の支えに僕がなることです。これは、信頼感でもあります。この人なら大丈夫、この人なら解決してくれる。こんな思いをもってもらえるように、まずは、頼まれた仕事をきちっとやって、気のきく行動、時には「大丈夫」という一言をかけたいです。

キャリアや頭脳明晰、統率力など目に見える実力だけではなく心で人とつながれる人になれるよう、学校生活でもがんばっていききたいです。

### 1 リーダー養成塾を受講して

リーダー塾に参加することができて本当に良かったです。みんなと過ごした2週間はとても濃く、あっという間でした。同じ高校生でもいろいろな考え方があって驚かされるばかりでした。最初はついていけるのか不安だったけど、発見と刺激を受ける毎日が楽しくて終わってしまうのがさみしかったです。この経験は自分にとって目標をかなえる大きな道筋となりました。

みんなと出会って過ごした時間はかけがえのない宝物です。

### 2 印象に残った講義とその理由

小林亮介先生の講義が印象に残っています。意識が変わるだけで同じ景色が違って見えるという言葉が自分の中でグッときました。エリートよりも、自分が好きなことを追いつけるオタクがいいという話を聞いて、自分もずっと追いつけられるような夢中になれるものを見つけたいと思いました。そして、今見ている景色を違った見方ができるような経験を積んでいきたいです。

### 3 今後のわたし

私はリーダー塾で世界に目を向ける大切さ重要性を学びました。また、英語は世界の人と繋がれる共通語であり、持っておくべき力であることを知りました。私は今回の経験を得て、世界と日本をつなぐ架け橋になれるような仕事に就きたいという目標ができました。そのために、ニュースや新聞を通して世界の現状を把握できるようにしたいです。英語を勉強することは人と繋がる第一歩になると思うので頑張っていきたいと思います。

私は大学では経済学部を目指しています。経済学を学ぶ中で、国際的な視野を養いたいと思っています。経済・経営という視点から世界にどう貢献していけるのか、自分に何ができるのか探していきたいと思います。大学ではリーダー塾よりも多くの人と関われるので、今回学んだディスカッションなどを活かして自分の意見、相手の意見を大切にしながら交流ができたと思います。

リーダー塾の仲間との出会いは今後も自分の力になると思うし、支えになると思います。みんなと過ごした時間を忘れず、前を向いて目標に向かって一歩一歩努力し続けていきたいと思っています。

## 1 リーダー養成塾を受講して

このリーダー塾は普段の生活、学校とは全く違う貴重な2週間でした。

日本や世界を代表する講師の先生方の講義は、普段聞くことのない様々な分野の内容で、自分の将来について深く考えさせられるものでした。

また、何よりもリーダー塾で一番私自身を成長させてくれたのは、リーダー塾で出会ったすばらしい仲間です。みんなそれぞれ個性がある中に1人1人きちんとした意思を持っており、私とは違う考えを持っており、もっといろいろな物事をあらゆる角度から多面的に見ないといけないなと思いました。また、アジア学生と出会ったことで私の考えは大きく変わりました。一筋縄ではいかないアジア学生との会話から、自分の英語力の低さにショックを受けました。しかし、言葉の壁をのりこえてでも話したいと思う気持ちが強く、ジェスチャーしたり工夫しながら頑張って会話して理解してもらえたときの喜びは忘れません。アジア学生の交流を通して、もっと多くの人、世界中の人々とかかわりたいと強く思うようになりました。

このリーダー塾で出会った仲間は、私に刺激を与えてくれる存在であって、一生の宝物です。

## 2 印象に残った講義とその理由

私が一番印象に残った講義は2つあります。

1つ目は、中村ブレイス株式会社代表取締役社長である中村俊郎先生のお話です。「自分の利益ではなく他人の幸せ」とおっしゃっていた中村先生の「誰かのために」という思いやりの気持ちと真の優しさに感動しました。この相手を想う気持ちは仕事だけでなく、学校生活の場や家族と過ごす場においてもとても大切なことだと思います。私も中村先生のような優しい人となり、多くの人に幸せを与えられる存在になりたいです。

2つ目は、一般社団法人 HLAB 創設者・代表理事である小林亮介先生のお話です。小林先生は講師の方の中で一番若く私たちに近い存在であることとグローバルな話をするとということで、とても楽しみにしていました。グローバルな世の中になる現代で何をしたらいいのだろうかと迷うとき、「グローバルだからこそ身近なところから考える。大きなことをしたければ足元を見る」とおっしゃっており、基礎が大切であると学びました。「勉強」も同じで基礎を怠らずに頑張ろうと思います。

## 3 今後のわたし

私はこのリーダー塾を通して改めて人とかかわることが好きなんだと実感しました。今回2週間をともにした仲間はリーダー塾に行けなかったら会うことはありませんでした。なので、これからもこのような一期一会の出会いを大切に、多くの人とかわっていきこうと思います。

また、私の将来の目標は日本だけでなく世界の舞台で活躍する存在となることです。そのためには言語の力を伸ばす必要があり、高校生である今、学校の勉強に全力を注ぎたいと思います。今回のリーダー塾で味わった、言語の壁をのりこえて会話する楽しさ、理解してもらえた喜びをもっともっと感じるためにも、つらく大変かもしれないが、この経験を忘れず頑張ろうと思います。

今まで私は自分と他人を比べてしまう部分がありました。今回のリーダー塾では、「自分は自分、相手は相手」ということを学びました。相手にはあって自分にはない才能を悲観的にとらえるのではなく、自分にしかできないことがきっとあると前向きに考え、ひたすら前に前に進んでいきこうと思います。周りの環境にも左右されない強い意志を持ち、一日一日を全力で過ごしていきたいです。

今回貴重な2週間を与えてくれた学校の先生、家族、期間中お世話になった担任の先生、学生リーダーさん、事務局の方々、AHSでお世話になったすべての人に感謝しています。本当にありがとうございました。

## 1 リーダー養成塾を受講して

すべてが濃密でかけがえのない体験でした。心震わせられた先生方の魂のこもった講義、自分の無力さがくやしくて泣いた AHS、本気で悩んで、でも勇気をもって発言したディスカッション。全部全部本当にやって良かったし、また何度でもやりたいです。学校ではこれほど“考える”ことはありません。つらいときもたくさんあったけど、あれだけ自分が輝いていると思えたこの2週間は私は忘れないと思います。その中でも特に仲間との出会いは私にとって大切なものとなりました。1人1人が個性豊かでバックグラウンドも、考え方も、国も文化も全然違うけど、その違いを認め合うことができました。だからこそ、仲間との会話にはいつも驚きや発見があり、そこに多様性を見いだしました。“みんなちがって みんないい”をすごく実感しました。仲間と過ごす中で自分の夢が明確になり、将来やってみたいことももっと増えました。ここでできた仲間は私にすごく大きな影響を与えてくれました。2週間の中で苦しかった時も、仲間が背中をさすってくれたし、頑張っている姿に励まされたし、本当に本当に私にとってかけがえのない存在になりました。私にこれだけのすばらしい体験をさせていただける場を提供してくださった加藤先生をはじめ、すべての関係者様に感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

## 2 印象に残った講義とその理由

小林先生のパワーのある講義：自分とあまり年の変わらない方がこんなにきらきら輝いた人生を歩み、社会貢献をしていることにすごく強いあこがれをいただきました。とにかく若さとエネルギーがあふれていて講義がおもしろくて、将来こんな素敵な大人になりたいな、と思いました。そして先生からのメッセージをきいていると、自分にもできるかもしれないという勇気もわいてきて、一番心が熱くなった講義でした。

黒崎先生の世界の厳しい現実を知った講義：自分の事実認識の甘さを痛感したと共に、自分達は世界に向けて何ができるのかを真剣に考えるきっかけとなりました。日本の平和の感覚と世界のそれとのギャップにすごくとまどいを感じましたが、私達はちゃんと現実目に向けたいと思いません。そして私も将来は現地へ行って自分自身で見て感じて、そして行動をしてこようと固く決心しました。貧困の子ども達が平和を願える日がやってくるように何かできる“行動”をしたいと思いました。

## 3 今後のわたし

講義の中でも、AHSの中でも“聞く力”の重要性をすごく感じました。自分1人の意見というのはいかに一側面しか見れていないかということディスカッションでの仲間の指摘によって気づかされました。自分とは違う意見の人がいることで自分の見れていなかった面を知ることができるし、全体としても意見が深まっていくと思います。だからこそ、まず聞いて、受け入れて、自分の頭に吸収させることが大切です。私は今後、この力をもっと磨いていきたいと思いました。リーダー塾ではこの力の必要性和将来性を見つけました。中国や韓国の子達とすごく仲よくなり、メディアというフィルターのかかっていない1人の仲間として日本のことについて聞くことができました。そして自分のもっているイメージは払拭されました。こういう体験が相互理解に必要なことだし、将来平和な世界を築くための礎になるものだと思います。だからこそ、もっともっと国際交流をしていきたいです。これが私の夢にもつながりました。私は将来通訳になって、日本をとび出し、とにかく世界のいろんなものにふれてみたいと思っています。私1人の発信力は微小ですが、受信力には際限がないように思います。求めればどれだけでも知ることができます。そして、いろんな意見をきき、経験を通して広い視野をもった人材になっていきたいです。一方しか見れていなかった私を180度変えてくれたリーダー塾でのたくさんの人の言葉を受けとめて、明日からの行動を変えていける(経験を思い出で終わらせない!!)よう頑張ります。